

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)だより

令和5年11月

☆寄贈品展を開催します

舞鶴市郷土資料館は市民の皆様から郷土資料の寄贈を受けています。どれも郷土の歴史を語る貴重な資料です。11月7日(火)から寄贈された資料に加え、関連する収蔵品も交えてご紹介します。

令和5年度 第1期 寄贈品展 「舞鶴の酒屋とその周辺」

11月7日(火)～12月17日(日) 舞鶴ふるさと発見館展示室にて開催! (※要入館料)

※今月の展示解説「白屋・長内の絵地図」

11月19日(日)13:30～14:30 舞鶴ふるさと発見館展示室内(※要入館料)

今月の展示解説は明治6年頃の白屋・長内地区の絵地図です。今回寄贈を受けた松岡太左衛門家はもともと白屋地区で庄屋をしていた家です。白屋地区と長内地区は現在の舞鶴工業高等専門学校とその東側にあり、昭和14(1939)年に第三火薬廠建設のため軍に接収されました。その後、白屋地区の人々は現在の白屋地区に移転し、長内地区の人々は親戚などを頼って分散して移転したと云われています。松岡家は酒造を続けるために良い水の出る福来地区に移転しました。「白屋・長内の絵地図」は今では見る事の出来ない昔の白屋・長内地区を知ることでできる貴重な絵図資料です。



白屋・長内地区の絵地図(明治6(1873)年頃)

糸井文庫「善悪鬼人鏡」

☆今月の糸井文庫

糸井文庫コーナーでは毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。今月は「ヒーロー石川五右衛門」です。

稀代の盗賊として名をはせた石川五右衛門の浮世絵は歌舞伎の場面を描いたものより、ひとりだけを大写して描いた役者絵が多いです。これは五右衛門の人気を物語っているのでしょうか。右は明治元年(1868)に描かれた、後に「役者絵の国周」と呼ばれた豊原国周が描いた五右衛門です。



☆サロンスペースでも寄贈品の紹介！

サロンスペースでは寄贈品をパネルで紹介します(入館料不要)。



寄贈絵葉書「舞鶴海軍工廠桎進水記念(1916)」



寄贈絵葉書「舞鶴公園の桜花」

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館(舞鶴市郷土資料館)

(受付時間 9:00~16:30)

TEL:0773-75-8836・FAX:0773-77-1314

住所:舞鶴市字南田辺1番地(西総合会館1F)

展示室入場料:大人 100 円、市外学生 50 円

サロンスペース:無料

11月の休館日: 6(月)・13(月)・20(月)・24(金)
27(月)

